

国語科教科経営案

四万十市立中村小学校

1 学校教育目標

「豊かに学び、共に生きる喜びをもつ児童の育成」

2 本校の研究主題

主体的な学びで共に高まり合う児童の育成

～かかわることで自らの学びを自覚させる国語科の授業づくりを通して～

3 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

4 学年の教科目標

1, 2年

- (1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

3, 4年

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

5, 6年

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

5 教科の課題

1, 2年

- 目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら適切に話すこと。
- 話し手の意図をとらえながら的確に聞くこと。
- 書く事柄を収集し、目的や意図に応じて自分の考えを明確に表現するために必要となる事柄を整理して書くこと。
- 文章構成の効果をとらえ、内容を的確に押さえたり登場人物を相互に関係付けたりして読むこと。
- 複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつこと。

3, 4年

- 目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら適切に話すこと。
- 話し手の意図をとらえながら的確に聞くこと。
- 書く事柄を収集し、目的や意図に応じて自分の考えを明確に表現するために必要となる事柄を整理して書くこと。
- 文章構成の効果をとらえ、内容を的確に押さえたり登場人物を相互に関係付けたりして読むこと。
- 複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつこと。

5, 6年

- 目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら適切に話すこと。
- 話し手の意図をとらえながら的確に聞くこと。
- 書く事柄を収集し、目的や意図に応じて自分の考えを明確に表現するために必要となる事柄を整理して書くこと。
- 文章構成の効果をとらえ、内容を的確に押さえたり登場人物を相互に関係付けたりして読むこと。
- 複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつこと。

6 経営方針

- 本時のめあてを児童にしっかりとめあて、めあてが達成できたかを振り返る。
- 児童が意欲的に取り組み、自ら考えたいくなるような発問の工夫をする。
- 既習事項を使って、児童が自ら課題を解決していくような授業展開を工夫する。
- 児童が関わり合う場面設定をする。
- 表現活動を取り入れる。(書く、復唱する、話し合うなど表現する活動)

7 学年の重点目標

1年

- 国語で学んだことを生かして、身近なことなどについて、順序を考えながら話したり聞いたりする活動を仕組んでいく。
- 経験したことなどについて、順序がわかるように整理して文章を書かせる力をつけるために、いろいろな機会をとらえて文を書くことができる場面を設定する。
- 順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げて読んだりすることができ、本や文書を読むことが楽しいと感じられるようにする。

2年

- 事柄の順序を考えながら、話したり聞いたりする活動を取り入れていく。
- 経験したことや想像したことについて、順序に沿って簡単な構成を考えて文章を書くことがで

きるように、場面を設定する。

- 事柄の順序や場面の様子に気付いたり、想像を広げたりしながら読むことができるような学習展開を仕組む。本に親しむことができるように読書指導にも力を入れる。

3年

- 目的を明確にし、伝えたいことを筋道を立てて話す能力、話の中心に気をつけて聞く能力を育てる。
- 書こうとすることの中心を明確にし、段落を意識して、様子や気持ち、理由や事例を挙げて書こうとする態度を育てる。
- 目的に応じ、内容の中心となる語や文をもとに段落相互の関係を考えたり、叙述を基に想像して読んだりする能力を身に付け、読書の習慣化に向けた読書指導に力を入れる。

4年

- 相手や目的に応じて、理由、考えの根拠、事例等を挙げて筋道を立てて話す能力、話の中心に気をつけて自分の考えと比較しながら聞く能力を育てる。
- 書こうとすることの中心を明確にし、段落相互のつながりに注意して書こうとする態度を育てる。
- 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら、人物像を中核に読む能力を身に付け、いろいろな分野の本を幅広く読書しようとする態度を育てる。
- 日常的に辞書を利用して、調べる方法を理解し、調べる習慣を育てる。

5年

- 国語で学んだ事を生かして、目的に応じて話したり聞いたりする活動を仕組んでいく。
- 考えたことが伝わるように文章を書き、伝え合う活動を通して評価し合う。
- 目的に応じ内容や要旨をとらえ、自分の考えをもちながら読む。並行読書など、様々な文章を読むことで考えを広げたり深めたりできるよう、読書の質と量を高める。

6年

- 国語で学んだことを生かして、目的や意図に応じて話したり聞いたりする活動を仕組んでいく。
- 考えたことが明確に伝わるように文章全体の効果を考えて書き、相互評価では助言し合う場面を設ける。
- 意欲的に登場人物の相互関係や心情をとらえながら読み、様々な文章を読むことで考えを広げたり深めたりできるよう、読書の質と量を高める。